

『広辞苑』（第七版）に見るポップカルチャーの台頭」（『比較文化史研究』第19号、比較文化史学会、2018年3月）、45 - 64 頁

「はじめに」「1. 『広辞苑』とは」「2 『広辞苑』（二〇一八、第七版）にみる掲載内容とその傾向について」「おわりに」で構成した。下位項目として、「（1）インターネット・SNS 関係」「（2）アニメ・ポップカルチャー関係」「（3）人物関係」を設け、とくに（2）の台頭振りを明らかにした。ポイントに挙げたのは「ドラえもん」である。ドラえもんは外務省のアニメ文化大使に任命されるなど、公的にも登用されている。同じようにハローキティも世界中で周知されているが、『広辞苑』ではとりあげられていない。これはTVアニメ化されているかどうかのちがいのなであろうか？メディア影響の重さについて指摘した。（A5）